

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 24 日作成)

小委員会名	建築保全標準対象拡大小委員会	主 査 名：野口 貴文 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (改修工事運営委員会)	委員長名：野口 貴文 主 査 名：本橋 健司
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>既存鉄筋コンクリート造建築物の保全に関して、構造体、仕上、防水を対象として、保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事に関わる標準仕様書および規準が制定されたが、鉄筋コンクリート造以外の鉄骨造および木造についても、同様の仕様書・規準の必要性は高い。過去5年間、この制定に向けたフレームワークについて検討してきた。非構造部材のメンバーを加え、標準仕様書の策定について具体的に検討を進める。</p> <p>初年度：鉄骨造建築物、木造建築物、非構造部材の保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事の標準仕様書・規準のあり方・方向性とスケジュールの検討。経年劣化以外によって損傷を受けた建築物の補修・改修に関する標準仕様書・規準の制定の必要性の検討。</p> <p>2 年度：標準仕様書の目次と執筆者案の作成。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：野口貴文 (東京大学) 幹事：清家 剛 (東京大学) 委員：青木謙治 (東京大学)、石山央樹 (大阪公立大学)、五十田博 (京都大学) 伊藤拓海 (東京理科大学)、伊山 潤 (東京大学)、兼松 学 (東京理科大学) 河端昌也 (横浜国立大学)、熊谷亮平 (東京理科大学)、興石直幸 (早稲田大学) 近藤照夫 (ものづくり大学)、澤田樹一郎 (島根大学)、藤田香織 (東京大学) 脇山善夫 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 維持保全に関して住宅メーカーおよび工務店団体に対して実施した聞き取り調査結果を整理・分析して、報告書を作成した。 2. 鉄筋コンクリート構造の保全標準を鉄骨造および木造に展開することを想定し、各種構造の特徴や非構造部材を踏まえた建築物の保全計画・劣化診断の手順について検討を行った。 3. 劣化、耐久性に関する文献・研究論文を収集・分類、分析を行った。 4. 標準仕様書の目次案を作成し、執筆者について議論を行った。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>整理・分析・執筆する項目が極めて多岐にわたることが明らかになったため、委員を拡充する必要がある。</p>